

令和5年度 一般講演会 事後アンケート（オンライン参加）

2023.11.4（土）開催

オンライン申込 55名→当日参加者 37名、アンケート記載 11名：回収率 29%

1.お立場を教えてください。

当事者	家族	職場	支援者	その他
0名	1名	0名	4名	6名

・支援者内訳（ケアマネジャー&社会福祉士 1名、訪問看護師 1名、行政こども課 1名、医師 1名）

・その他内訳（社会福祉士 1名、ケアマネジャー 2名、トライ式高等学院 1名、行政：生活福祉課 1名、精神科デイケア看護師 1名）

2.お二人のお話を聞いて、ご自身の中で得られたことはありましたか？（自由記載）

- ・ヤングケアラーの定義や当事者の話を聴いて、近所や周囲にいるのかもしれないと考えさせられた。
- ・自分一人で抱えることがないように、日々の関わりといかにか、少しの違和感に気付けるか、本当は困っている方のサインをキャッチできるアンテナを備える力、多職種と動くため、関係性づくりのスキルが必要だと感じた。誰もが田中さんと同じように進めていくことは難しいことかもしれないけど、同じ思いを持った方々が気軽に参加できる場があったらいいなあと思いました。
- ・過度にお節介精神で支援をするのも良くないというのがとても大きな気づきでした
- ・ヤングケアラーということは、ケアを受けている方も若いということ。
- ・寄り添う事の大事さ、押し付けてはいけないと思いました。簡単に退職してはいけない事。認知、と使わない気遣いが出来るようになりたい。
- ・いつでも話を聞けるからねという関係性をもつようにしたいと思いました。
- ・今日の公演を聞いて、ヤングケアラー問題が少しずつ理解できました。本人が、ヤングケアラーとっていない方もいる。周りの方が、様子や環境も気にかけて上げる必要があることを教えていただきました。
- ・出過ぎない、さりげない気遣いが大切
- ・相談先を確保しておく、ということ。しかし、冷たい対応も多そうに感じました。
- ・ヤングケアラーの一つのあり方
- ・精神科デイケア勤務なので、在宅支援も担う中で、若年の精神疾患患者の子供もしっかり観察し必要な援助に繋げていかななくては…と考えさせられました。

3.若年性認知症相談窓口・若年性認知症支援コーディネーターの業務について

理解できましたか？

とても理解できた	まあ理解できた	難しかった	記載なし
4名	7名	0名	0名

4.本日の講演会で参考になった事がありましたら記入をお願いします（自由記載）

- ・若年性認知症コーディネーターの役割と支援について学ぶことが出来た。
- ・若年性認知症が、受けられるサービスが少ないこと。声を上げることも大事。すぐに、介護保険サービスではなく、障害福祉サービスの就労支援なども検討する必要があること。本人だけではなく、家族全体のアセスメントの視点を持つことなど勉強になりました。
- ・コーディネーターの仕事に興味を持ちました
- ・期待しすぎず幅広く相談することで、孤立しないかもしれない。
- ・当事者の方の話を伺う機会が得られて勉強になりました。

5.コーディネーターに望むことや、コーディネーターから欲しい情報はありますか？

（自由記載）

- ・コーディネーターを増やしてほしい。予算をつけてあげて欲しい。
- ・困ったときに相談させてください
- ・記載なし 9名

6.今回の講演会についての満足度を教えてください

とても理解できた	まあ理解できた	難しかった	記載なし
10名	1名	0名	0名

7.次回の講演会の要望について（自由記載）

- ・定期的に開催してほしいです。
- ・ヤングケアラーや若年性認知症についてだけでなく、「依存症への対応」も広めるといいと思います。大人（特に男性、父親にあたる人）のダラシナシさが「子供の貧困」に繋がっていると感じています。男性が講演会を聞く機会が増えるよう、建設協会等と連携したり出来たらいいと思います。
- ・記載なし 9名

8. コーディネーターに相談したい事等がありますか？

- ・1人配置は、業務をこなすのも大変な中、素晴らしい講演をありがとうございました。
- ・現時点では、相談は特にありません。ただ、必要になったら、相談させていただきますね。アルコールおよびギャンブル依存症の無職の配偶者（45歳）がいます。まだ認知症ではありませんが、身体や心の状態を勘案すると、いつ発症してもおかしくない状況です。